

## 演習問題 解答

1 下記の症例について、届出対象か届出対象外か適切なものに○を記入してください。

① 自施設で高血圧の治療中に他施設で食道がんと診断され、食道がんの治療は**すべて他施設で行われている**症例。

ア. 届出対象

イ. 届出対象外

② 他施設で診断されたがんについて、自施設では**そのがんの術後リハビリのみ**行っている症例。

ア. 届出対象

イ. 届出対象外

③ 自施設ではがん以外で診療をしている。がんについては他施設から処方を受けており、他施設処方の**抗がん剤について自施設で服薬管理**のみ行っている症例。

ア. 届出対象

イ. 届出対象外

④ 自施設で肺がんの疑い。**確定診断には至っていない**症例。

ア. 届出対象

イ. 届出対象外

⑤ 救急搬送されそのまま死亡。死亡**診断書にがんと記載した**が、受診歴は全くない症例。

ア. 届出対象

イ. 届出対象外

2 届出票を作成するときに、下記の場合が適切であれば○、間違っていれば×を記入してください。

届出票は別紙 1 の届出票見本を参考にしてください。

① 転移性肝臓がん患者

届出票の項目⑨原発部位について「肝臓」を選択した。

→ ×

**そのがんの原発部位を届出る(届出マニュアル P.30)  
わからない場合、部位は「原発部位不明」として届出る。**

② 原発部位不明の患者

届出票の項目⑧側性について「9.不明」を選択した。

→ ×

**部位「原発部位不明」の側性は「7.側性なし」を選択する。(届出マニュアル P.29)**

③ 乳がん患者

左右両方のがんが見つかり診断されたが、部位や病理診断、診断日、治療法などすべて同一なので、届出票の項目⑧側性について「3.両側」を選択した。

→ ×

**側性で「3.両側」を選択できるのは、マニュアル P.29 記載の 3 つの臓器腫瘍のみであり、この場合は左右 1 件ずつ計 2 件の届出を行う。(届出マニュアル P.29)**

④ 肺がん患者

自施設で手術等観血的治療を何も行っていないため、届出票の項目⑰進展度・術後病理学的の項目は「777.該当せず」を選択した。

→ ×

**手術等の観血的治療を行っていない場合は「660.手術なし・術前治療後」を選択する。「777.該当せず」は白血病、多発性骨髄腫(部位 C42.0 又は C42.1)の場合に選択する。(届出マニュアル P.39)**

⑤ 遡り調査で対象となった患者

他施設で組織診を行い胃がん診断されているが、診断日(検査日)の情報がなく、わからないので、届出票の項目⑭診断日は未記入(空欄)で提出した。

→ ×

**他施設診断の時は、診断日は当該腫瘍初診日となる。(届出マニュアル P.36)  
つまり、そのがんの治療などのために初めて患者が自施設を受診した日を診断日に記載する。(よほど古くない限り不明ということはありません)**

3 次の症例について「診断施設」、「治療施設」、「診断根拠」、「発見経緯」に該当するコードを記入してください。コードは別紙2の全国がん登録届出マニュアル（抜粋）から選択してください。

- ① A クリニックのがん検診で細胞診を行い子宮頸がん診断。自施設を受診し、超音波と組織診を行い子宮頸部扁平上皮癌と診断したが、その後は来院していない症例。

診断施設	<u>1. 自施設診断</u>
治療施設	<u>1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介又はその後経過不明</u>
診断根拠	<u>1. 原発巣の組織診</u>
発見経緯	<u>1. がん検診・健康診断・人間ドック</u>

**Aクリニック、自施設どちらも検査・診断しているが、Aクリニック施行の3. 細胞診より、自施設施行の1. 原発巣の組織診が最も確かな検査となる。（届出マニュアル P.35）**

- ② 下血を主訴にB病院を受診し、腹部CT検査と大腸内視鏡にて生検の結果、結腸管状腺癌と診断され手術。その後は当初の治療計画により自施設にて経過観察を行っている症例。

診断施設	<u>2. 他施設診断</u>
治療施設	<u>3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続</u>
診断根拠	<u>1. 原発巣の組織診</u>
発見経緯	<u>8. その他</u>

**治療計画を立てた時点で、自施設での経過観察が含まれているので、治療施設は、継続となる。（届出マニュアル P.34）**

**自覚症状による受診の場合、発見経緯は 8. その他を選択する。（届出マニュアル P.37）**

4 次の症例について「進展度・治療前」、「進展度・術後病理学的」に該当するコードを記入してください。コードは別紙2の全国がん登録届出マニュアル（抜粋）から選択してください。

- ① 市町村の検診で胃がん疑い。精密検査のため自施設に紹介され、腹部CTと内視鏡下生検を行い、胃癌・肝転移と診断。外科的治療は適応外のため実施しなかった症例。

進展度・治療前	<u>440. 遠隔転移</u>
進展度・術後病理学的	<u>660. 手術なし・術前治療後</u>

**自施設で手術が行われなかったため、進展度・術後病理学的は660. 手術なし・術前治療後を選択する。(届出マニュアル P.39)**

- ② 自施設にて急性骨髄性白血病の診断。化学療法を行った症例。

進展度・治療前	<u>777. 該当せず</u>
進展度・術後病理学的	<u>777. 該当せず</u>

**白血病、多発性骨髄腫(局在コードがC42.0又はC42.1)の場合、進展度は777. 該当せずを選択する。(届出マニュアル P.38~39)**

# 解答

## 全国がん登録届出票

①病院等の名称		B病院	
②診療録番号		98765	
③カナ氏名		シ ケンコウ	メイ マスコ
④氏名		氏 健康	名 増子
⑤性別		<input type="checkbox"/> 1. 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 女性	
腫瘍の種類	⑥生年月日	<input checked="" type="checkbox"/> 0. 西暦 <input type="checkbox"/> 1. 明治 <input type="checkbox"/> 2. 大正 3. 昭和 <input type="checkbox"/> 4. 平成 1936年 8月 1日	
	⑦診断時住所	甲府市丸の内一丁目6-1	
	⑧側性	<input type="checkbox"/> 1. 右 <input type="checkbox"/> 2. 左 <input type="checkbox"/> 3. 両側 <input checked="" type="checkbox"/> 7. 側性なし <input type="checkbox"/> 9. 不明	
	⑨原発部位	膵臓	C25.9
⑩病理診断		悪性腫瘍	8000/3
診断情報	⑪診断施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設診断 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 他施設診断	
	⑫治療施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で初回治療を開始 <input type="checkbox"/> 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設を受診して初回治療を継続 <input type="checkbox"/> 4. 他施設で初回治療を終了後に自施設を受診 <input type="checkbox"/> 8. その他	
	⑬診断根拠	<input type="checkbox"/> 1. 原発巣の組織診 <input type="checkbox"/> 2. 転移巣の組織診 <input type="checkbox"/> 3. 細胞診 <input type="checkbox"/> 4. 部位特異的腫瘍マーカー <input checked="" type="checkbox"/> 5. 臨床検査 <input type="checkbox"/> 6. 臨床診断 <input type="checkbox"/> 9. 不明	
	⑭診断日	<input checked="" type="checkbox"/> 0. 西暦 <input type="checkbox"/> 4. 平成 2019年 9月 13日	
	⑮発見経緯	<input type="checkbox"/> 1. がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 他疾患の経過観察中の偶然発見 <input type="checkbox"/> 4. 剖検発見 <input type="checkbox"/> 8. その他 <input type="checkbox"/> 9. 不明	
進行度	⑯進展度・治療前	<input type="checkbox"/> 400. 上皮内 <input type="checkbox"/> 410. 限局 <input type="checkbox"/> 420. 領域リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430. 隣接臓器浸潤 <input checked="" type="checkbox"/> 440. 遠隔転移 <input type="checkbox"/> 777. 該当せず <input type="checkbox"/> 499. 不明	
	⑰進展度・術後病理学的	<input type="checkbox"/> 400. 上皮内 <input type="checkbox"/> 410. 限局 <input type="checkbox"/> 420. 領域リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430. 隣接臓器浸潤 <input type="checkbox"/> 440. 遠隔転移 <input checked="" type="checkbox"/> 660. 手術なし・術前治療後 <input type="checkbox"/> 777. 該当せず <input type="checkbox"/> 499. 不明	
初回治療	⑱外科的	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明	
	⑲鏡視下	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明	
	⑳内視鏡的	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明	
	㉑観血的治療の範囲	<input type="checkbox"/> 1. 腫瘍遺残なし <input type="checkbox"/> 4. 腫瘍遺残あり <input checked="" type="checkbox"/> 6. 観血的治療なし <input type="checkbox"/> 9. 不明	
	㉒放射線療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明	
その他治療	㉓化学療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明	
	㉔内分泌療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明	
	㉕その他治療	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明	
㉞死亡日		<input type="checkbox"/> 0. 西暦 <input type="checkbox"/> 4. 平成 年 月 日	
備考		Aクリニックから紹介 肝転移あり 本人治療望まず経過観察の方針となる	

# 解説

項目	
⑪診断施設	Aクリニックで造影CT検査を行っているので、2. 他施設診断
⑫治療施設	経過観察の決定かつ実行は、2. 自施設で初回治療開始
⑬診断根拠	CT等画像検査は、5. 臨床検査 この場合、診断根拠として、4. 部位特異的腫瘍マーカーは選択できない
⑭診断日	項目⑪の診断施設が他施設の場合、当該がんの診断や治療のために初めて患者が自施設を受診した日になるので 2019年9月13日
⑮発見経緯	糖尿病の治療中に見つかったので、 3. 他疾患の経過観察中の偶然発見
⑯進展度・治療前	A病院からの情報により判断できる 肝転移。440. 遠隔転移
⑰進展度・術後病理学的	自施設で手術を行っていないため、660. 手術なし・術前治療後
⑱～㉑観血的治療	自施設では手術を行っていないため、2. 自施設で施行なし
㉒観血的治療の範囲	項目⑱～㉑のいずれも2. 自施設で施行なしの場合、 6. 観血的治療なし
㉓～㉕その他治療	項目㉓～㉕ 2. 自施設で施行なし
備考欄	前医や病理などの情報があれば記入